

# 第2回北条地区総合防災訓練特集

## 北条地区総合 防災訓練を終えて

大字北条総代  
四日町区長 柳 尚武

最近、日本中のあちこちで地震が頻発しています。その度に、又、大きなのが来るのではないかと不安が胸を過ぎります。この思いは北条地区の皆さん誰もが持ちます。

今回の総合防災訓練は毎年一回とは言え、時宜を得たものと思います。

参加者は訓練の趣旨を理解し行動され、訓練のポイントであった児童・生徒の引き渡し訓練と炊き出し訓練も大変順調でした。普段から非常時に備えた点検や定期的な地域挙げての防災訓練には、真剣に取り組むたいものです。

これを機にご家族で防災について話し合ってみるの如何でしょうか。



児童生徒の地域から保護者への引き渡し



児童生徒の学校から地域への引き渡し

小学生、避難所へ到着



### 合同訓練に想つ

北条小学校

校長 齋喜 和彦

災害発生時に、児童生徒の安全管理を誰がするのかという議論があります。

しかし、これは、択一的に考えるのではなく、関係者の連携・共助のあり方として考えるべきでしょう。

今回、小学校にとって良かったことはPTAや中学校と共に参加し、課題を共有できたことです。

「北条」という絆の中で、小中が連携し、更には、各町内と学校が協力して児童生徒の安全を確保する。

より安心な北条防災システムを築くために、一層連携を深めたいものです。

### 秋晴れの下で

北条中学校

校長 藤林 壽一

中学校として初参加の地区総合防災訓練。さわやかな秋晴れに恵まれ、小学生と一緒に活動する生徒達も生き生きしていたように感じました。

中学生も地域の一員です。地域における役割を担うこと、そのためにより主体的に参加することが、大切だと思います。そこで、事前の打ち合わせ会に、生徒の代表を参加させてもらいました。快く受け入れてくださった心の広さ、そして、当日のまとまりのよさ、北条地域の素晴らしさを改めて痛感した防災訓練でした。

防災無線により各集落の被害状況をパネルに表示



### 理科の面白さ

北条中学校

一年 村山 ひとみ

私は、ナダレンジャーのいろいろな実験を見て、理科って面白いなあと、とても感じました。ナダレンジャーが分かりやすく、楽しく実験、説明してくれたので笑いながらも理解する事ができました。地震の実験では、大きい揺れの時と小さい揺れの時は建物も大ききごとに揺れが違う事が分かりました。実験を見る事ができて良かったです。



Dr ナダレンジャーの「防災おもしろ実験教室」